



# 足立区議会だより

発行/足立区議会  
http://www.gikai-adachi.jp No. 295

第 3 回  
定例会



扇のすすきで秋を体感

足立区議会写真部 小泉 ひろし 撮影

## 区長提出議案

### 平成30年度足立区一般会計歳入歳出決算を認定

(決算概要は8面掲載)

## 議員提出議案

### 高齢者の安全運転支援と地域における 移動手段の確保を求める意見書を可決

### 令和元年第3回 定例会のあらまし

第3回定例会は、9月20日から10月21日までの32日間で開会しました。

本会議初日の区長あいさつの後、各会派の代表議員、無会派の議員が、9月25日までの3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

今定例会では、平成30年度足立区一般会計等、4会計決算を決算特別委員会で審査し、それぞれ認定しました。

また、議員提出議案2件について、いずれも全会一致で可決しました。

請願・陳情26件については、1件を採択、25件を継続審査としました。

### ●主な内容●●●●●

- 2面 ●区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 5面 ●議決結果
- 6面 ●みなさんからの請願・陳情 意見の分かれた案件
- 7面 ●決算特別委員会の討論 (要旨)
- 8面 ●平成30年度 各会計決算グラフ
- 平成30年度各会計決算 決算特別委員会での審査と本会議での議決
- 決算特別委員会の名簿及び委員会の審査結果
- 委員会活動
- 文書質問が始まりました

## 寄附行為の禁止

議員(候補者等を含む。)が選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀等の贈り物をすることは、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。

また、受け取った人も罰せられます。

年賀状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すことも禁止されています。

区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 問

代表・一般質問を令和元年  
9月20日、24日、25日に  
開会した第3回定例会本会議  
で行いました。

**代表・一般質問**  
議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無党派議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下、その一部を掲載します。  
また、2次元バーコードから、各質問者の録画映像をご覧になれます。

## 足立区議会自由民主党

魅力あふれる足立区を!!

自由民主党 かねだ 正 議員



### 聖火リレーで機運醸成を

**【問】**①聖火リレーは、セレブレーション会場だけでなく、スタートから企画を検討し、区民の皆さんと一緒に盛り上がる一大イベントにすべきでしょうか。  
②企業のノウハウや活力等を導入し、機運をさらに盛り上げる仕組みを構築出来ないか。

### 【政策経営】

①会場はもちろん、リレールートに合わせて、区民が参加出来る一体感のあるイベントを実施し、盛り上げていく。  
②企業や団体の活動を支援する補助事業や、新しい発想の企画提案をいただく委託事業等を早急に立ち上げていく。



### 新病院までの安全な道路整備を

**【問】**江北駅から東京女子医科大学新東医療センターまで、アクセス経路全体の安全でスムーズな歩行環境の整備が必要と考える。現在の検討状況と今後のスケジュールを伺う。

**【市街地】**駅から新病院までの全区間で、ユニバーサルデザインに配慮した2.5mの安全な歩道

### を整備することとなった。

また、今年度中に用地買収を終えた約7割の部分で歩道整備を行う予定である。残りの区間は、開院までに歩行環境の整備完了を目指していく。

### 西新井駅西口の将来の見通しを

**【問】**東武ストア解体後の情報は何もなく、住民の不安は募るばかりである。区は東武鉄道に対し、解体後の計画を明らかにするよう要望すべきでしょうか。  
また、西口駅前交通広場の整備に着手すべく、精力的に協議すべき時期と思うがどうか。

### 【市街地】

駅周辺整備の検討を東武鉄道と行っており、その中で、計画を明らかにするよう強く申し入れている。現時点では区との検討状況を踏まえ、東西総合的に検討中と伺っている。  
また、警察との協議を進めており、東武鉄道とは、令和3年度の事業認可取得を目指し、精力的に協議を進めていく。

### 災害訓練での地域格差是正を

**【問】**町会・自治会や避難所運営会議において、様々な訓練が実施されているが、地域ごとに相当な差が発生している。地域別に訓練実施状況を把握し、全地域で訓練が実施されるようサポートすべきがどうか。

**【危機管理】**数年間実施できていない地域があることも把握し

ている。訓練が行えていない町会等に対しては、定期訪問時に訓練実施の打診を行っている。  
また、避難所運営会議に対しては、訓練実施の働きかけや訓練計画の提案を行っている。

### 移動の利便性を高める施策を

**【問】**区内外に移動出来るシェアサイクル事業を導入し、区民や来訪者の移動の利便性を高めたいが、実施にあたり、

### 【都市建設】

今年度中に事業者と協定を結び、実証実験の準備を進めている。実験にあたり、駅近くの区営駐輪場等にサイクルポートを設置し、区民や来訪者の利便性を高めていく。  
**【問】**①区民からブロック塀対

## 足立区教科書採択の実態

### 学校での公正な教育を望む

自由民主党 せぬま 剛 議員



### 歴史の真実を伝える教育を

**【問】**今回採択された小学校社会科の教科書では、「多くの朝鮮や中国の人々を日本に連れてきて、各地の鉱山や工場で働かせた」と何の注釈もなく書かれている。歴史の真実をきちんと教えないと日本はこれからも対

等な外交が出来ない。そのような教育を子供達にしているのか。  
**【教育指導】**採択した社会科の教科書には、第二次世界大戦において我が国と関わった国々との関係が多角的な視点で記述されている。歴史上の事象を多面的に捉え、様々な方向から我が

国の歴史に関する理解や思考を深められるものと考えている。

策を行いたい。区の助成額が少ないとの声が寄せられている。早急に安全対策を進めるため、助成を拡充すべきがどうか。  
②都の補助制度を活用して小学校の通学路に防犯カメラを設置してきたが、中学校周辺は補助対象になっていない。さらなる安全対策のため、区独自に設置すべきと考えるがどうか。

### 【建築】

①拡充の方向で進めている。特に通学路沿道や非課税世帯に対し、助成の増額等、手厚くなるように取り組んでいく。  
**【学校運営】**②中学校から要望のあった場所も、防犯カメラを設置していく。その際、都の補助対象とならない場合でも、区単独の費用負担で設置していく。

## 区民が幸福を感じるまちづくりと将来への公教育を!!

### 足立区北部地域の未来に向けたまちづくりのために

自由民主党 新井 ひでお 議員



学習指導要領に示されている目標・内容を教員に正しく理解させ、適切な授業が行われるよう指導・助言を継続していく。  
**【問】**かつて参観した性教育の授業では、性的少数者がいることを押し付けた授業をしていた。子供達が自分の意思や自由を選択出来るよう教えるべきである。

また、子供達が望まぬ妊娠とならないように、ただ単に避妊だけを教えるのが性教育ではない。押し付けや強制ではなく、親の愛、人の心、大人の責任を教える授業となっているか伺う。  
**【教育指導】**親が子どもに注ぐ愛、また、人としての責任や自

覚を理解することは、自分も大切にし、他者も大切にすることを育てるうえで重要なことと考えている。現在も人権教育や道徳等を通じて子ども達の心を育んでいるが、これからの教育は何かを押し付けるような教育は慎むとともに、様々な教育活動を通じて、さらに子ども達の心の育成を進めていく。

**【問】**道徳の教科書が採択される場で、「働き方改革の時代に、一昨年採用された教科書を変更すれば、先生が大変だからこのままで良い」との発言があり、反論もなく決まった。道徳教育の内容を論議しないで採択したのはなぜか。

### 【教育長】

社会生活の礎となる道徳を子ども達が学ぶために、最も効果的な教科書の選択に向け、事前に各教育委員が真剣に考え、すべての教科書を比較検討し、教育委員会の場で委員各々が意見を表明したうえで採択した。令和2年度以降は、今回採択した教科書を使用し、子ども達が自ら考え、実践出来るような道徳教育を進めていく。



**【政策経営】**①地域と連携をとりながら、開設1年前の令和2年4月頃から事前周知を改めて

# 代表・一般質問

# 区政を

本会議の録画中継を  
区議会ホームページでご覧いただけます  
<http://www.gikai-adachi.jp>



【問】区内には公園等が491あり、設置されている防犯カメラは、49園50台と非常に少ない現状で

【政策経営】あだちの魅力を高めるまちづくりを進めるうえで、民間活力による新たな文化・芸術という視点は重要だと認識している。今後、まちづくりの方針を決める際には、区民と区議会の意見を丁寧に向いながら地域特性を踏まえ検討していく。

【問】民間活力により、新たな文化・芸術の視点を盛り込んだまちづくりを行ってはどうか。



【問】区内には公園等が491あり、設置されている防犯カメラは、49園50台と非常に少ない現状で

【問】民間活力により、新たな文化・芸術の視点を盛り込んだまちづくりを行ってはどうか。

【問】民間活力により、新たな文化・芸術の視点を盛り込んだまちづくりを行ってはどうか。

## 足立区議会 公明党

### 安心して住める我が街足立 まちづくりに区民の声を!

公明党 小泉 ひろし 議員



行うとともに、令和3年1月頃からは4月のキャンペーン開設を歓迎する掲示物等を、年間通して掲出し、地域をあげて歓迎ムードの創出を図っていく。

【問】平成29年6月には「花畑地区学校統合に伴い魅力ある公教育、教育環境を実現し文教地区・花畑を目指すことを求める請願」が採択されている。今後どのように検討し反映させようとしているのか伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

【問】平成29年6月には「花畑地区学校統合に伴い魅力ある公教育、教育環境を実現し文教地区・花畑を目指すことを求める請願」が採択されている。今後どのように検討し反映させようとしているのか伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。



【問】聴覚障がい者に対するタブレットPC等を用いた遠隔手話通訳サービスによる情報コミュニケーション支援を導入すべきと思うが伺う。

### SDGsの推進で誰一人取り残さない社会の実現を!

公明党 さの 智恵子 議員



用語解説 \*健康経営:従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること

2次元バーコードを印刷し、10月以降の授業で配布していく。



花畑川環境整備の進捗状況は

【問】今年度は雪見橋から富士見橋間の詳細設計を行うとのことだが、工事開始もこの区間から行い、富士見橋の早期完成を

すべきと考えるが何う。

また、車両も通行出来る橋とすべきと考えるが併せて何う。

【道路整備】開始は令和3年3月から、全4区間の中の一つである雪見橋から富士見橋間の工事に着手出来るよう進めていく。

また、車両が通行出来る橋とした場合、橋周辺の民有地に段差が生じることや南側道路の一方通行の解除等の課題がある。

今後、地域の意見を伺い、12月末を目途に判断したうえで、令和2年度に詳細設計を実施し、早期完成を図っていく。

日本共産党足立区議団

個人の尊厳が尊重され、誰もが輝く足立区を



日本共産党

ぬかが 和子 議員



不透明なオリパラ経費8千億円

【問】詳細が明らかにされておらず、増額必至の中で、都民の後年度負担が懸念される。透明性を確保を求めるべきだがどうか。

【区長】同様の懸念はある。透明性の確保を強く求めていく。

【問】①大規模水害は避難出来る知人宅がある区民が少数なのを前提に対策すべきだがどうか。

②スファイア基準を目標にさらなる避難所確保と避難しないので済む住宅を増やすべきだがどうか。

また、避難所トイレは男女比、排泄時間等の基準を目標に据え、計画を見直すべきかどうか。

よう検討し、確実に設置されるよう訓練等で支援強化していく。

④施設外周道路のマンホール利用を進めるとともに障がい者団体とベッド備蓄を検討していく。

また、便袋は備蓄場所を施設と調整し、配備を進めていく。

⑤使用者により種類が異なるため、竹の塚障がい福祉館で普段使用の器具保管を検討していく。

【問】富士市のように病気で働きたくても働けない方に縦割りや排して、ユニバーサル就業支援を実施すべきかどうか。

【福祉】富士市を参考にメリット・デメリットを見極めていく。



新田学園と学校図書館司書配置

【問】①今年度に数100m離れた旧新田小跡地を第二校庭とする工事に着手し、児童をバス送迎する。保護者等から「20分休みを削っての輸送はどうか」等の声と多くの署名が区長に届けられたが、どう受け止めたか。

②中学校は全校に毎日司書が配置されるが、小学校は週1回6時間のみで23区最低である。状況を改善すべきかどうか。

【教育指導】①保護者の意見を真摯に受け止め、声に寄り添い、出来る限りの環境構築に努める。

②次年度から、配置日数を増やせるよう事業者との契約を見直し、利活用を進めていく。

西新井駅ビルの計画を明らかに

【問】区も計画に関与し、大型エレベーター等、区民が望む施設導入を目指すかどうか。

社会保障を充実し、安心してくらしさせる足立区に

日本共産党

横田 ゆう 議員



【問】区内の高齢者の非課税者は62・3%となり、生活困窮が広がっている。区民の生活実態を考えれば、第8期介護保険事業計画策定にあたっては、保険料値下げこそ必要だがどうか。

②老人クラブへの助成は、30人以上が対象となっているが、会員の高齢化が進み、活動に参加出来ない会員が出ているため、30人未満の老人クラブにも助成金を出すかどうか。

【福祉】①今後も後期高齢者が増加し、給付額が上昇し続ける厳しい状況にあるが、所得段階や保険料率の見直し等、あらゆる手段を検討し、適切な保険料を設定していく。

②要綱では、4月1日時点で30人を下回ったクラブは助成の対象にならないが、今後30人を下回ったクラブが活動を継続出来るよう条件緩和を検討していく。

設導入を目指すかどうか。

【市街地】東武鉄道の計画に積極的に関与し、整備を目指す。

【問】区の減免制度は「災害、倒産、失業及びその他の事由」となっており、これ以外の理由で収入が激減し、支払うことができなくなった世帯には適応されない。そのため、「前年度の収入から激減した場合」を事由に加え、柔軟に対応出来る制度にすべきかどうか。

【区民】制度のさらなる充実のため、「前年度の収入から激減した場合」を事由とした減免について、他区の動向を踏まえ検討させていただく。

区民の命を守る

災害対策の強化を！

立憲民主党

おぐら 修平 議員



【問】①現在、区では全国の自治体や病院、企業等と災害協定を締結しているが、締結先をさらに増やすべきかどうか。

足立区議会立憲民主党



治体や病院、企業等と災害協定を締結しているが、締結先をさらに増やすべきかどうか。

②協定を締結している企業や団体の総合防災訓練や地域の防災訓練への参加状況はどうか。

③協定締結先の企業や団体が、地域の防災訓練に参加する仕組みをサポートすべきかどうか。



【問】①東武ストア側のトスカ西館解体の際にエレベーター設置等、バリアフリーの徹底を東武鉄道と協議すべきかどうか。

②駅ビル建て替えについて、エスカレーター設置、東西通路の整備、大型エレベーターへの付け替え等、東武鉄道と協議を進めるべきかどうか。

【市街地】①東武鉄道からトスカ西館には現在の駅階段とエレベーターが含まれており、新たな階段とエレベーター設置後に解体する予定と伺っている。

足立区議会改革を全力で押し進める会

妊娠・出産・子育て支援23区ワースト1からの脱却を

議会改革推進

長谷川 たかこ 議員



23区でワースト1の妊娠・出産・子育て支援施策の拡充を

【問】出産後の身体に与えるダメージや体力の消耗は想像以上に大きく「産んだら楽になる」という考えは間違いである。多くの女性達は出産後、身体にトラブルを抱えたまま子育て期をスタートさせている。第1子・第2子・第3子以降の出産に対応した総合的な支援施策を全庁あげて全力で構築し、「もう一人この足立区で産みたい」と思っているだけのような施策、地域をつくっていくこと



【区長】もう一人産んでみたいと思っただけのような施策、地域をつくっていくこと

用語

\*スファイア基準：災害被害者等が尊厳ある暮らしを送るため、避難所における1人あたりの最小面積や男女別のトイレ設置比率等を定めた国際的な基準の通称

用語

\*ユニバーサル就業支援：様々な理由で働きたくても働けず、本人の個性や意欲に合わせた多様な働き方が出来るように総合的に支援すること

5面に続く

は、非常に重要であると考えている。産後ケアについては、出来ることから新年度予算の中で検討していく。

【問】子どもの国民健康保険料の軽減を

【問】子どもの国民健康保険料は年々値上がりし、高額となっている。区として保険料負担軽減が難しいのであれば、代替措置として、子育て応援施策に転

### 無会派 へんみ圭一 議員



台風の教訓をアプリに活かす

【問】①アプリの洪水ハザードマップは、想定浸水の深さが色分けで示されるが、その色がどのようなレベルなのか分かりにくい。改善を求めるがどうか。②水害時に現在地がどれほど被害を受けるかを可視化するため、AR(拡張現実)を用いる等、危険性を分かりやすく伝えるべきではないか。③避難勧告が発令された際、早期避難を促すべくプッシュ通知機能を搭載すべきではないか。④区民が撮影した災害現場写真を投稿出来れば、的確な初動体制構築に資すると思うがどうか。⑤台風15号直撃の際、ライブカメラが動いてなかった。猛省を求めるが、理由と改善策を問う。

【危機管理】①凡例を地図と同画面に表示する等、再度検討していく。②AR活用もあげられるが、大

換し、子育て世帯に対する支援の拡充を求めるがどうか。【区民】多子世帯に対し、幼児教育・保育の無償化に伴い、0歳から2歳の課税世帯における保育料の軽減対象者を拡充する。その上で、無償化によって区の財政負担が少なくなることから、そこで生まれる財政負担減額分を原資として、子育て支援策のさらなる充実に活用していく。



幅な改修等を要すると考えている。見やすい凡例の表示等、危険性を分かりやすく伝える方法をAR以外も含め検討していく。③Aメール等で情報提供しているため、搭載する考えはない。④情報の有効性等、災害時に活用出来るかどうかや電子メール等、他の方法がある中で、搭載すべきかどうか検討していく。⑤経年劣化による故障であることが分かったため、事業者には至急修理するよう指示した。今後は、このようなことが無いよう指導するとともに、区としても毎日定時確認していく。

### 第3回定例会での議決結果

#### 区長提出議案

#### 認定したもの

#### 決算

- ◇平成30年度足立区一般会計歳入歳出決算
- ◇平成30年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ◇平成30年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算
- ◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 (4会計決算の内容は8面に掲載)

#### 可決したもの

- ◇令和元年度足立区一般会計補正予算(第3号)
  - 補正額 56億6千993万3千円
  - 予算総額 2千937億8千円
- ◇令和元年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)
  - 補正額 10億9千330万3千円
  - 予算総額 627億167万4千円

条 例  
◇選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
公職選挙法施行令の改正に伴い、交替して職務を行わせる場合における投票管理者の報酬の額を定めるもの

- ◇足立区印鑑条例の一部を改正する条例  
住民基本台帳法施行令の改正によるもののほか、規定を整備するもの
- ◇足立区地域体育館条例の一部を改正する条例
- ◇足立区営運動場条例の一部を改正する条例
- ◇足立区温水プール条例の一部を改正する条例
- ◇足立区東綾瀬公園温水プール条例の一部を改正する条例  
以上、4議案いずれも休館・休場日または開設期間を変更するほか、指定管理者の権限に関する規定を整備するもの
- ◇足立区自転車の安全利用に関する条例  
自転車の安全利用に関し、自転車利用者の責務等を定めるもの
- ◇足立区神明三丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区高野地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

- ◇足立区花畑北部地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例  
以上、3議案いずれも建築基準法の改正に伴い、規定を整備するもの
- ◇足立区に係る防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例  
建築基準法の規定に基づき、防災街区整備地区計画を実施

- ◇足立区総合交通計画改定協議会設置条例を廃止する条例  
足立区総合交通計画改定協議会を廃止するもの
- ◇足立区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、規定を整備するもの
- ◇足立区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例  
地方公務員法の改正に伴い、会計年度任用職員の給与及び費用弁償について定めるもの



本会議の様子

- ◇足立区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区職員の分限に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ◇公益的法人等への足立区職員派遣等に関する条例の一部を改正する条例
- ◇外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例

- ◇足立区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◇足立区生涯学習センター条例の一部を改正する条例
- ◇足立区地域学習センター条例の一部を改正する条例
- ◇足立区立図書館条例の一部を改正する条例  
以上、3議案いずれも休館日等を変更するもの
- ◇足立区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正に伴い、規定を整備するもの
- ◇足立区特定教育・保育施設、特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例  
子ども・子育て支援法等の改正に伴い、規定を整備するもの

- ◇訴えの提起について  
生業資金貸付金の償還金を滞納した相手方に対し、未償還金の支払等を請求するもの

### その他の議案

- ◇補助第258号線六町加平橋取付道路整備工事その1請負契約の変更について  
変更前 4億9千372万6千320円  
変更後 5億2千100万9千120円  
相手方 株式会社東京三田組
- ◇栗六陸橋耐震補強等工事請負契約の変更について  
変更前 2億7千738万6千120円  
変更後 2億8千915万7千220円  
相手方 東急・東武建設共同企業体
- ◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて  
契約方法 指名競争入札  
契約金額 5千825万2千766円  
相手方 廣瀬産業株式会社  
東京支店

訴えの提起について  
相手方に対し、区営住宅建物の明渡し、使用料相当損害金及び遅延損害金、訴訟費用の支払を請求するもの

特別区道路線の認定		
所在地	幅員 (m)	延長 (m)
花畑六丁目地内	4.50	55.96

特別区道路線の廃止		
所在地	幅員 (m)	延長 (m)
花畑五丁目地内	①4.82~5.80	①268.47
	②8.03	②14.33

### 報告

訴えの提起について  
生業資金貸付金の償還金を滞納した相手方に対し、未償還金の支払等を請求するもの

◇和解について
ほか1件
応急小口資金貸付金の償還方法について和解するもの

◇損害賠償額の決定について
ほか2件
職員が物品を積んだ台車を前方不注意により相手方に衝突させ、傷害を負わせたことに対する損害賠償額（5万7千978円）について、特別区自治体総合賠償責任保険を適用する事件であるが、損害保険会社と交渉を継続した結果、慰謝料が追加支給（8万円）されたもの

◇債権の放棄について
ほか49件
信用保証料補助金返還金

◇平成30年度決算に基づく足立区の健全化判断比率の報告
実質赤字比率 1%
連結実質赤字比率 1%
実質公債費比率 △3.4%
将来負担比率 1%

◇訴えの提起について
ほか1件
応急小口資金貸付金の償還金を滞納した相手方に対し、未償還金の支払等を請求するもの

◇和解について
ほか1件
応急小口資金貸付金の償還方法について和解するもの

◇人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員候補者として箕進氏、市村智氏、鈴木又右衛門氏、橋本優氏を法務大臣に推薦するため、区長から議会の意見を求められ、異議ないものと答申しました。

◇高齢者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を求める意見書
生感系への影響が深刻化するプラスチックごみ対策の強化を求める意見書

◇権利擁護支援の地域連携ネットワークへの行政書士の参画を求める陳情

◇採択したもの
みなさんからの請願・陳情
採択したもの

◇権利擁護支援の地域連携ネットワークへの行政書士の参画を求める陳情

今定例会で可決した意見書（要旨）
高齢者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を求める意見書

豊島区池袋で今年4月に87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢運転者による事故が続いている。

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、75歳以上の高齢運転者による死亡事故の割合は高まっており、ブレーキとアクセルの踏み間違いなど単純ミスによる事故も目立つ。

警察庁は、昨年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許保有者が、2022年には100万人増えて663万人に膨らむと推計している。

こうした状況を踏まえ、国は2017年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許保有者は一定の違反行為をした時や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けたが、いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。

よって、足立区議会は政府に対し、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、左記事項について早急に取り組みすることを強く求めるものである。

1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」（サポカーS）や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。

2 高齢運転者による交通事故を減らすため、「安全運転サポート車」（サポカーS）に限定した運転免許制度を創設すること。

3 高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニ

ニティバスやデマンド型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。また、運転免許証を自主返納した高齢者に、地方自治体などが行うタクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長あて）

国際社会では、増え続けるプラスチックごみ問題への対策として、使い捨てプラスチック製品の製造・流通・販売の規制に踏み込み、生産・使用そのものを削減する流れが広がっている。

しかし日本では、規制は設けられておらず、削減の取り組みは企業の自主努力任せとなっている。日本がプラスチックごみの排出量を減らしていくためには、廃棄・リサイクル段階のみならず、製造・流通・販売の各段階においても実効性ある施策を進めるための法整備が一刻も早く求められている。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、プラスチックごみ対策を強化するため、左記事項の実現を強く求めるものである。

1 プラスチックごみについては、国内での回収・処理を最優先とするほか、海へ流出するごみの量を極力抑えるため、日本が国際連携の枠組みの構築や、アジア諸国への技術支援・協力に対して主体的・先導的役割を果たしていくこと。さらに、プラスチック資源として再利用することを基本とした処理システムを一刻も早く構築すること。

2 使い捨てプラスチック製品の製造・流通・販売の各段階においても、削減の取り組みを企業・業界の自主努力任せとせず、国として新たに削減に向けた法制度の検討を図ること。

（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、環境大臣あて）

【いずれも10月21日議決】

高齡運転者による死亡事故の割合は高まっており、ブレーキとアクセルの踏み間違いなど単純ミスによる事故も目立つ。警察庁は、昨年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許保有者が、2022年には100万人増えて663万人に膨らむと推計している。こうした状況を踏まえ、国は2017年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許保有者は一定の違反行為をした時や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けたが、いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。よって、足立区議会は政府に対し、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、左記事項について早急に取り組みすることを強く求めるものである。

国際社会では、増え続けるプラスチックごみ問題への対策として、使い捨てプラスチック製品の製造・流通・販売の規制に踏み込み、生産・使用そのものを削減する流れが広がっている。しかし日本では、規制は設けられておらず、削減の取り組みは企業の自主努力任せとなっている。日本がプラスチックごみの排出量を減らしていくためには、廃棄・リサイクル段階のみならず、製造・流通・販売の各段階においても実効性ある施策を進めるための法整備が一刻も早く求められている。よって、足立区議会は国会及び政府に対し、プラスチックごみ対策を強化するため、左記事項の実現を強く求めるものである。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、プラスチックごみ対策を強化するため、左記事項の実現を強く求めるものである。1 プラスチックごみについては、国内での回収・処理を最優先とするほか、海へ流出するごみの量を極力抑えるため、日本が国際連携の枠組みの構築や、アジア諸国への技術支援・協力に対して主体的・先導的役割を果たしていくこと。さらに、プラスチック資源として再利用することを基本とした処理システムを一刻も早く構築すること。2 使い捨てプラスチック製品の製造・流通・販売の各段階においても、削減の取り組みを企業・業界の自主努力任せとせず、国として新たに削減に向けた法制度の検討を図ること。（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、環境大臣あて）【いずれも10月21日議決】

意見の分かれた案件（45件中10件）
※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党 改革…足立区議会議会改革を全力で推し進める会 無派…無党派

Table with columns for decision results (議決結果) and party affiliations (自民, 公明, 共産, 立民, 改革, 無派). Rows list various budget and ordinance items.

### 足立区議会 自由民主党

討論者



伊藤のぶゆき  
委員

平成30年度予算は、協働の先を行く協働力を発揮し、成長実感を実感につかみつつさらに前進するということで「協創力×エリアデザイン」つかむ、成長の実感。」と銘打ち、4つのポトルネットワークの課題である「治安、学力、健康、貧困の連鎖」の解決に向け、引き続き力を注ぎ、弱みを強みへと変える一方で、まちづくりを中心に区の魅力づくりを一層注力し、さらなるイメージアップを確かなものにする予算であった。

平成30年度決算では、経常収支比率が、対前年度比1.2ポイント減の76.4%となり、5年連続で適正水準とされる80%を下回り、財政の弾力性は引き続き良好であった。

しかし、今後、さらなる社会保障費の増や公共施設更新に伴う負担増、法人住民税の一部国税化による影響拡大に加え、東京

2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の景気不透明感など、区財政を取り巻く環境は予断を許さない状況である。

このような状況の中、将来に備え、基金の積み増しが出来ていることは評価するものである。言うまでもなく、基金は不況等による急激な歳入減があっても、継続して行政サービスを提供出来るよう備え、施設更新等長期にわたる事業を計画的に進め、世代間の負担を公平にするものであり、決して貯め込みにあたるものではない。

区民生活向上のために、これまで取り組んできた行政改革をさらに進歩させ、区民の負担に耐える行政運営に引き続き努力してもらいたいことを要望する。

最後に、今後とも、さらに魅力あふれる足立区を築き上げていただけることを期待するとともに、次年度の予算編成にあたっては、我が党委員の指摘した、様々な提案及び要望事項を尊重し、その実現に向けて努力されるよう強く要望する。

### 足立区議会 公明党

討論者



佐々木まさひこ  
委員

平成30年度予算は、協創力を磨き、7つのエリアデザインをさらに進め、区民に区の成長を実感していただくことを重点として編成された。

江北エリアデザインでは、「(仮称)東京女子医科大学東医療センター」の起工式が本年3月に行われ、工事が開始された。竹の塚エリアデザインは課題であった鋼矢板の撤去も進み、2022年3月の完成を目指して事業が進捗した。

本決算では、子ども食堂等、地域で子ども達を育む仕組みづくりとして、かねてから要望してきた事業が数多く実施された。

本決算は、財政健全化法に基づくとすべての指標で良好な数値となり、財政硬直化を判断する経常収支比率は前年度比1.2%減の76.4%と引き続き良好な数字となった。

しかし、歳入に占める特別区税の割合は16.89%で38.01%を占める特別区交付金に依存する歳入構造は依然として変わらず、景気の動向や法人住民税の一部国税化の拡大の影響等が予測される。区の将来を見据え、予想される課題に機動的に対応すべく来年度以降の予算編成を行い、さらには協創力を発揮していくために、従来の枠にとらわれず大胆かつ柔軟な発想で、区民へアプローチしていくことが必要と考える。

本決算特別委員会にて指摘・要望した防災・減災対策、強靱化地域計画策定、液体ミルク等の災害備蓄品の充実整備、地域包括ケアシステムの構築、補聴器購入助成、いじめ・不登校対策、がん検診受診率向上施策、全小・中学校の体育館におけるエアコンの早期設置、舎人プレイグランドの人工芝生、3Rを含めた循環型社会構築等を重く受け止め、今後の予算執行や令和2年度予算に反映し、区民の命と暮らしを守る区政運営にまい進することを要望する。

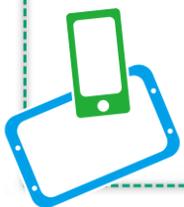


決算特別委員会の詳しい様子は、区議会ホームページからご覧いただけます。映像はスマートフォン・タブレットからでも視聴出来ますので、右の2次元バーコードからアクセスしてください。

また、予算・決算特別委員会の期間中は、YouTubeによる生中継も実施しておりますので、併せてご利用ください。

※決算特別委員会の名簿及び委員会の審査結果は8面に掲載しています。

## 決算特別委員会の 討論(要旨)



### 日本共産党 足立区議会

討論者



きたがわ 秀和  
委員

一般会計歳入決算は、我が党の予算修正案の提案項目が多く実現し、前向きな答弁が示されたことは歓迎するが、その一方で看過出来ない点もあり、認められない。

第一は、全体的なお金の使い方の問題である。過去最高の基金残高にもかかわらず、将来の財政不安を煽りながら1千620億円まで積み増すような姿勢を改めようとする区民に対し低いサービスや我慢を強いるだけでなく、都市部の財源を奪われる口実に

もなり、さらなる負担増に繋がりがかねない。

第二は、外部委託の推進である。個人情報や民間事業者に取り扱わせることは、情報漏えいやプライバシー侵害等の事態を招く危険性も高く、直ちに止めるべきである。

第三は、災害対策の姿勢である。避難所の改善についての仕組みづくりに向け、真剣に考えて意見をあげる姿勢もない。

これ以外にも、地域の避難所潰しにもつながる学校統廃合を改めようとしていない区の姿勢は問題であり、また、出生率低下を真剣に憂うのであれば、区独自でも不妊治療の上乗せ助成を行うべきである。

介護保険特別会計は、本来は介護のため

に使われるべきお金を、他の施策に活用する在り方は見直すべきである。

国民健康保険特別会計は、保険料の17年連続値上げで、くらしを圧迫し続けている。後期高齢者医療特別会計は、保険料値上げによって、決して軽くない負担を押し付けてきた。

値上げを抑える努力をしてきたことは承知しているが、3つの特別会計で値上げとなった結果の決算であり、認定出来ない。

区に対しては、お金の使い方を改め、そして住民の福祉向上という地方自治の本旨の立場から、区民のくらしに真に寄り添った施策を執り行うことを求める。

### 足立区議会 立憲民主党

討論者



銀川 ゆい  
委員

平成30年度予算は、「協創力×エリアデザイン」つかむ、成長の実感。」と銘打ち、足立の新たな魅力の創出に取り組んできた。

平成30年度の決算は良好な財政状況ではあるが、今後さらなる少子・超高齢社会の進展に伴う社会保障費の増や公共施設の更新費、法人住民税の一部国税化の影響の拡大や、いつ発生するか分からない災害への対応、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の景気の不透明感等、

区財政を取り巻く環境は予断を許さない状況である。

特に、ふるさと納税の影響による8億円の減少への対策や、特別区民税をはじめとする税や国民健康保険料等の収入未済、不納欠損対策、歳入の確保について、強い危機感とスピード感をもって取り組むことを求める。

62年ぶりの刑法犯認知件数の5千件台への減少、区民の健康寿命の延伸、子どもの貧困対策や貧困の連鎖を断つための対策強化、個人・団体・企業等、多様な活動主体によるプラットフォームづくりの協創モデル事業等の取り組みについては評価するが、

我が会派から指摘した、シェアハウス対策の強化や、区民から要望が寄せられている区立第九中学校裏のバス通りの交通安全対策、防犯カメラの設置、老朽家屋対策、台風対策、教職員の多忙化対策、SNSを活用したいじめ相談、各種がん検診の受診率の向上、さらなる自主財源の確保、税や保険料の収入未済や不納欠損対策等、今後の区政運営や来年度予算編成に対して反映し、さらなる区政の発展、区民生活の向上に向け、区内の縦割りを超え、区内・区外の協創により、これまでの常識や行政手法のみでは乗り越えられない多くの区の課題に取り組むことを求める。

### 足立区議会 議会改革を全力 で推し進める会

討論者



土屋 のりこ  
委員

決算特別委員会の質疑を通し、区民の声や様々な政策提言や改善要求等を行った。

都下で初となる「看取り期まで対応する小規模な地域の住まい支援事業開設補助」を足立区が初めて実施した事は画期的であり、「安心して最後を迎えられる」地域の在り方に光を灯すものと受け止める。

障がいがある方からの声として、区役所ロータリーの段差改善、スロープのある仮橋へ向けた検討、環境部の様々な事業改善

等は、受け止めていただけたと評価する。

他に、困窮者支援の在り方について述べた。実態を見ずに、取り立てると言うばかりでは、滞納という問題の解決にはならない。払いたいのには払えない区民の方が、「払える」体制を作つてこそである。

高等教育無償化、借入返済助成について、制度の欠陥を指摘した。生活保護や非課税世帯等には「貸してくれない」という実態があるのだから、区民の置かれた実態について、しっかりと調査してこそ、区役所の役割を果たすものである。

国民健康保険、介護保険についても、保険料が高すぎて苦しいと、地域を回る中で

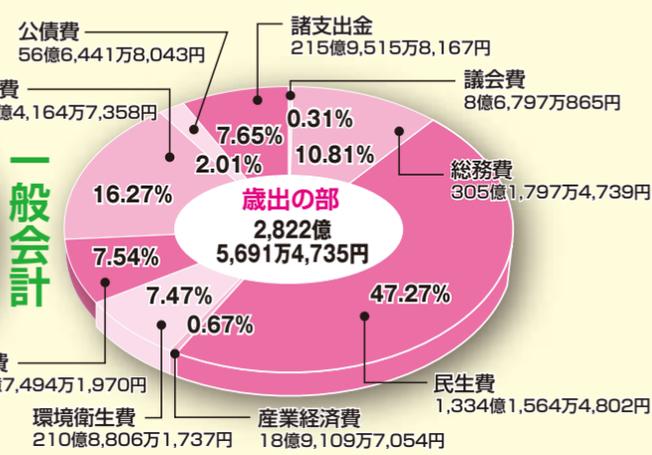
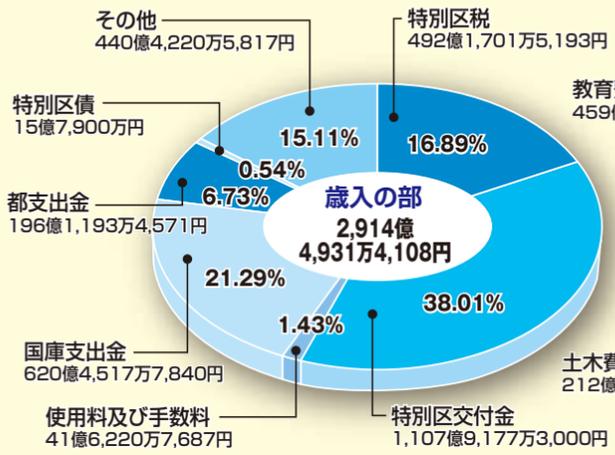
多くの声を受け止めてきた。国民健康保険の減免制度について他区の状況を調査することだが、足立区らしい制度として改善されるよう強く求める。

介護保険特別会計への一般会計からの繰り入れ等をかたくなに拒否する区の姿勢には、賛同しかねる。区民の実態へ、しっかりと踏み込み、保険料を軽減する方策を一緒に考えてほしい。

区民への区への対応の在り方、過誤の答弁を改めようとする姿勢、また寄せられている区民の民意を代弁するならば、今年度は認定の立場には立てないというのが今年度の結論である。

# 平成30年度 各会計決算

区分	30年度	29年度	増減額	増減率	
一般会計	歳入総額	291,449,314千円	279,663,777千円	11,785,537千円	4.2%
	歳出総額	282,256,914千円	272,022,988千円	10,233,926千円	3.8%
国民健康保険特別会計	歳入総額	74,670,093千円	89,048,025千円	△14,377,932千円	△16.1%
	歳出総額	73,778,949千円	87,314,122千円	△13,535,173千円	△15.5%
介護保険特別会計	歳入総額	56,687,487千円	55,296,583千円	1,390,904千円	2.5%
	歳出総額	55,797,482千円	54,051,746千円	1,745,736千円	3.2%
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	15,082,906千円	14,199,279千円	883,627千円	6.2%
	歳出総額	15,040,858千円	14,072,871千円	967,987千円	6.9%



### 一般会計 歳入の主なもの

特別区税	区民のみならずから区へ納められた税金 特別区民税、軽自動車税など
特別区交付金	都が課税する固定資産税などを原資にし、都 と23区間で財源の均衡調整を図る交付金
国庫支出金 都支出金	特定の事業や使いみちのために、国や都から 交付される補助金など

### 一般会計 歳出の主なもの

総務費	災害対策や選挙、広報、町会・自治会活動支 援に関する経費
民生費	子育て支援、高齢者施策、生活保護などの福 祉に関する経費
土木費	道路や公園の整備に関する経費
教育費	学力向上施策や校舎整備、幼稚園補助、生涯 学習に関する経費

## 委員会活動

委員会名	日程	主な内容			
		審査 議案	陳情 請願	報告	その他
総務委員会	8月19日(月)	1		3	
	9月26日(木)	18	1	11	
区民委員会	8月20日(火)			3	15
	9月27日(金)	8		3	11
産業環境委員会	8月20日(火)				5
	10月11日(金)				13
厚生委員会	8月21日(水)			5	9
	10月11日(金)			6	2
建設委員会	8月22日(木)				8
	10月15日(火)	8		2	10
文教委員会	10月21日(月)	1			
	8月22日(木)		2		6
議会運営委員会	9月26日(木)	3	2	4	10
	8月30日(金)				第3回定例会 について
9月19日(木)					
9月30日(月)					
交通網・都市基盤整備 調査特別委員会	10月18日(金)				第3回定例会、議員 提出議案について
	8月23日(金)				5
待機児童・子ども支援対策 調査特別委員会	10月16日(水)				4
	8月23日(金)	1	1		4
災害・オウム対策 調査特別委員会	10月16日(水)	1	1		5
	8月28日(水)				4
エリアデザイン 調査特別委員会	10月17日(木)		3		8
	8月28日(水)				7
	10月17日(木)				7

**決算の概要**  
平成30年度予算は、「協創力×エリアデザイン」つかむ、成長の実感。」と銘打ち、これまで、ボトルネック的課題解決に向けて取り組んできた様々な施策の成果が徐々に現れ始めてきた中で、「協創力」と「エリアデザイン」により、さらに確実に、かつ成長が実感出来るようにするための予算として編成されました。こうした方針に基づ

**審査経過**  
予算の執行が適正かつ効率的に行われたかどうか、また、施策や事業の達成度、今後改善を要する点は何かなどに視点を置き、各委員がそれぞれの立場で

**本会議での議決結果**  
10月21日の本会議において、高山のぶゆき委員長が、本特別委員会での審査結果を報告しました。その後採決を行い、委員会の決定のとおり認定しました。

今定例会に区長から、平成30年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」の歳入歳出決算についての議案が提出されました。

議会は、決算特別委員会を設置し、10月2日から10日までに6日間審査を行いました。

き、予算が執行された結果、一般会計は、歳入で2千914億4千931万4千108円、歳出で2千822億5千691万4千735円となり、前年度比では、歳入4・21%の増、歳出3・76%の増となりました。

普通会計決算は、実質収支が約79億9千300万円の黒字で、前年度に比べ約6億200万円の増となり、経常収支比率は76・4%で、前年度比1.2ポイント減少し、5年連続で80%を下回りました。健全化判断比率については、基準に対し特に問題となるところはありませんでした。

**審査結果**  
10月10日に質疑を終了し、各会派の討論及び無党派議員の意見表明の後、採決しました。

その結果、平成30年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」歳入歳出決算については、いずれも挙手多数により認定すべきものと決し、審査を終了しました。

(討論の要旨を7面に掲載)

## 平成30年度各会計決算 決算特別委員会での審査と本会議での議決

### 決算特別委員会の名簿及び 委員会の審査結果

委員長・副委員長	
高山のぶゆき	委員長
岡安たかし	副委員長
西の原えみ子	副委員長

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党 改革…足立区議会議会改革を全力で推し進める会 無派…無党派  
※委員長（高山のぶゆき議員）は採決に加わりません  
※○…賛成 ×…反対 欠…欠席

区分	審査結果	自民		公明		共産		立民		改革		無派													
		白	新	古	渡	高	か	伊	く	小	た	岡	佐	さ	石	ぬ	西	きた	お	銀	土	市	へ		
一般会計	認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計	認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計	認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 『文書質問』が始まりました

令和元年第3回定例会より文書質問が始まりました。足立区議会における文書質問とは、議員が区の一般事務について、議会の会期中に文書で質問を行うことを指します。本会議における一般質問だけでなく、文書質問を導入することで、議員の質問機会が拡充され、質問権や調査権がより強固になります。提出された文書質問の内容については、区議会ホームページでご確認いただけます。

URL: <http://www.gikai-adachi.jp/honkaigi/bunshyo/index.html>